

ひまわり組だより



2020年12月

尚徳福祉会 馬橋保育園

先月は芋掘り遠足でたくさん歩き、運動会ごっこで新しい鳴子踊りを披露し、さらにゴールテープ持ちやメダルをかけてあげるといった大役も見事に果たしました。年下のクラスの子どもたちから、「憧れのひまわり組さん」という熱いまなざしを受け、自信にもつながったと思います。

今月は劇や歌、様々な制作活動を通して、みんなで工夫しながら表現する楽しさを味わい、年末年始の行事にも、興味を持って取り組めるよう心がけていきます。

今月のわらい

- 共通の目的に向かって話し合い、工夫し合う中で、充実感を味わったり、友だちの良さに気付いたりする
- 年末年始の準備を通して、身近な人たちの生活の変化に関心を持ったり、先人の生活の知恵を知ったりする

ひまわり組 今月のお知らせ

- ◆芋掘りのお芋を使った【焼き芋作り】のお手伝いをします。サツマ芋を使った料理やお菓子作りも予定しています
- ◆冬のパーティで、ひまわり組は劇や歌などを披露する予定です
- ◆年末には保育室の大掃除をします。雑巾がけにも挑戦します



「ティッシュの箱でギターを作ったよ」「ライブショーも始まったよ」

ティッシュの空き箱でのギター作りが流行りました。輪ゴムを弦代わりに、割り箸をネック代わりに取り付け、首からテープでぶら下げれば完成！ 巧技台で特設ステージを作ってお気に入りの曲を流してあげると、嬉しそうにギターをかき鳴らし始める子どもたち。「太鼓ない？」と他の楽器で参加したい子もいたので、鈴やタンバリンを用意すると、あっという間にライブショーが始まりました。ちょうどレストラン屋さんもオープンしていたので、「食事しながら演奏が楽しめるね」と、さながらライブハウスのような様子でした。一緒に歌う子、布を持ってヒラヒラ舞い踊る子など、一人一人がそれぞれの楽しみ方で参加していました。

「ドングリいっぱい拾ったよ!」「どっちのほうが重いかなあ?」

馬橋公園でドングリ拾い大会をしました。「勝ち負けはないよね?」と確認しつつも、やる気満々の子どもたち。「わあ、いっぱいある!」「このドングリの帽子カワイイ」と様々な歓声が上がります。地面ばかり見ていた子も、そのうち「どこから落ちてくるのかな?」と木のほうへ視線を上げ、「発見した! あんなふうにはぶら下がっているんだね」と感動している様子。帰園後、みんなで収穫物の重さを秤で測り、成果を確かめ合っていました。秤にモノを載せると「重い軽い」が分かることを理解すると、様々なものを秤に載せて楽しんでいました。

12月生まれのおともだち

★おたんじょうびおめでとう★

